

NOKA I D A I NOW

建設通信新聞5/27掲載

当校の学生がアイデアコンペ

最優秀賞を受賞！！

R7Vol.09

日本建築積算協会関西支部は、設立50周年事業として「関西支部の活動拠点となる事務所ビル」をテーマに、学生を対象としたアイデアコンペを実施しました。その結果、最優秀賞に当校 建築施工技術科 一色果乃さんの「透けて見えて育んで」が選ばれました。

一色さんの提案は、設計コンセプトが明快で空間への落とし込みが優れている点、配置のスペースバランスと全体の納まりの良さなどが高く評価されました。



審査風景

日本建築積算協会関西支部は、設立50周年に向け各種記念事業を展開した。初弾事業として記念ロゴマークを制定することになり、支部会員企業などを対象に2023年8月から10月末にかけてデザイン案を公募した。24点の応募作の中から渡邊響さん（大和ハウス工業）のデザインを最優秀賞に選んだ。その他優秀賞2点と、審査員特別賞2点の計5点が入選した。最優秀賞の渡邊さんの作品は、関西2府4県の地図と同協会の略称である「BSIJ」で表記。50年の歴史を「茶色」、仕事への情熱は「赤」、仕事に対する誇りは「オレンジ」、正確性は「緑」、正義感を表す「紫」など、関西支部のイメージに共有・共感できる提案が評価された。

事業の締めくくりとして、学生を対象としたアイデアコンペを実施した。建築積算講座の受講と積算士補資格の受験ができる「認定校」で学ぶ学生・生徒が対象で、関西支部の活動拠点となる事務所ビル」をテーマに、支部会員だけでなく建築積算を学ぶ学生・生徒とも気軽に立ち寄れる交流・情報交換の場としての提案を求めた。その結果、入選作品3点を選出。最優秀には一色果乃さん（近畿職業能力開発大学校）の「透けて見えて育んで」が選ばれた。

日本建築積算協会関西支部は、設立50周年に向け各種記念事業を展開した。初弾事業として記念ロゴマークを制定することになり、支部会員企業などを対象に2023年8月から10月末にかけてデザイン案を公募した。24点の応募作の中から渡邊響さん（大和ハウス工業）のデザインを最優秀賞に選んだ。その他優秀賞2点と、審査員特別賞2点の計5点が入選した。最優秀賞の渡邊さんの作品は、関西2府4県の地図と同協会の略称である「BSIJ」で表記。50年の歴史を「茶色」、仕事への情熱は「赤」、仕事に対する誇りは「オレンジ」、正確性は「緑」、正義感を表す「紫」など、関西支部のイメージに共有・共感できる提案が評価された。



記念事業を展開

「透けて見えて育んで」が選ばれた。一色さんの提案は、設計コンセプトが明快で空間への落とし込みが優れている点、配置の

ロゴマークを制定 学生向けアイデアコンペも実施

表彰式は、5月28日に開催される50周年記念式典の席で行われる。

スペースバランスと全体の納まりの良さなどが高く評価された。最優秀賞のほか優秀賞は修成建設専門学校チーム（西原・島本）が、数量積算特別賞を広島工業大学チーム「太平洋から日本海」がそれぞれ受賞した。審査は支部顧問の阿波野昌晃氏を始め、浦江真人（日本建築積算協会会長）、東洋大教授、杉村修一（竹中工務店大阪本店設計部専門役、平野附仁（東建建築事務所設計室部長、重松大輔（大建設設計事務所コスト管理室長、東泰紀氏（東建築積算士事務所）、渡邊支部長の計7氏が担当した。

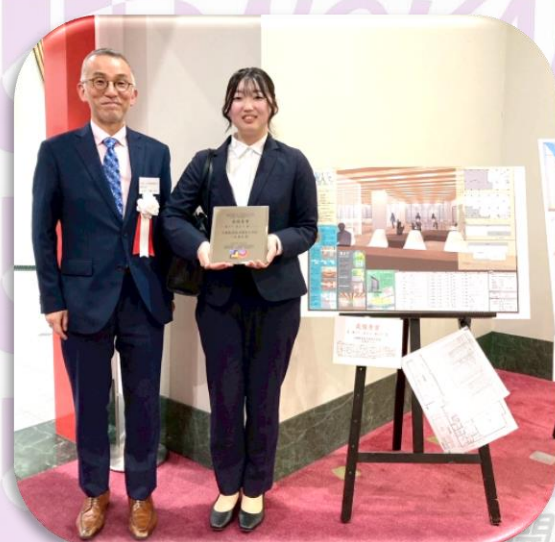


最優秀賞の「透けて 見えて 育んで」

正会員数は600人超

関西支部概要

日本建築積算協会は1975（昭和50）年、それまで任意団体だった「日本建築積算事務所協会」が社団法人化し名称を「日本建築積算協会」に変更。関西支部としての活動もスタートした。第2代・第4代支部長を務めた故・生駒道春氏らの尽力により支部活動の礎が築かれ、現在は637人（4月1日時点）の正会員を擁するまでに成長している。
▷名称—公益社団法人日本建築積算協会関西支部
▷支部長—渡邊浩文（第11代）
▷所在地—〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-3-10 長堀堂ビル8階
▷電話—06-6253-1523
▷ファクス—06-6253-1524
▷E-mail—kansai@bsij.or.jp



渡邊支部長と一色さん



入賞者受賞式